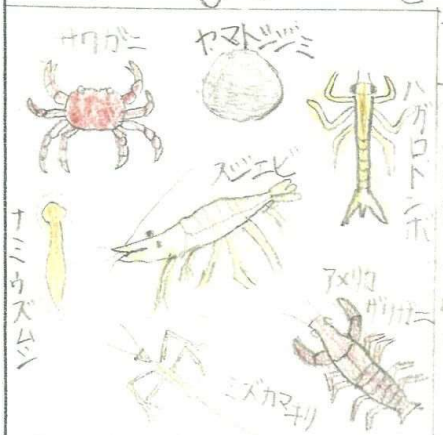
発行日　令和　7年　11月　25日

わくわく川新聞

発行者　広瀬小
西村咲那

どんな生き物がいるのかな？

上流には、きれいな水にいるものがたくさんいます。たとえば「ヤマメ」「オウサンショウウオ」などがいるそうです。わたしがじっさいに見つけた生き物は「サワガニ」と「ナミヒラタカゲロウ」です。次に、中流です。中流には「ナマズ」「コイ」「フナ」「どじょう」などがいるそうです。「どじょう」は、わたしも見たことがあります。下流は中流と同じ生き物がいます。「ザリガニ」などもいるそうです。わたしは小さい魚をたくさん見つけました。



水質調査！

場所	水温	気温	COD	とう明度
上流 山	19℃	24℃	4	100cm以上
中流 広瀬	23℃	27℃	4	100cm以上
下流 東江	22℃	27℃	4	100cm以上
河口	22℃	27℃	4	81cm

石について知ろう！

川にはきれいなこぼたもち石や虫くいいん石という石があります。きれいなこぼたもち石は黄色くて大きい物が多いです。虫くいいん石は、虫が食べたようなあとがたくさんある黒い石です。とにかくでこぼこで大きい物もあれば小さい物もあります。

編集後記

きれいなこぼたもち石や虫くいいん石など分からないことがたくさん分かってうれしいです。上流は気温が低いことが分かりました。河口はとう明度の結果があまりよくなかったのでおどろきました。

参考にした本や資料

発行日　令和　　年　　月　　日

いしなし川のひみついっぱい新聞

発行者　広瀬小
北川　睦美

石のひみつ見つけよう!!

いしなし川には、三つの石がありました。

一つ目はきなこほたもち石です。きなこほたもち石はきなこの色をしていてつるつるな石です。とくに上流に大きなきなこほたもち石がありました。二つ目は虫くいいん石です。虫くいいん石は、虫にくわれたような形ですが、ほんとうは人がほって作られているんです。きなこほたもち石が作られているのかというと、なぜてつずなになってすなができてつに分川にすんでいる鉄のいろんな小さい石もなぜてつになっているのです。

水しつけんさって知ってる??

水しつけんさは、川のじょうたいを見るけんさです。たとえばCODだったらよごれがきれいでもよごれたないと見ます。左の表をみたらCODは全部4です。いしなし川はまあまあきれいということがわかります。そして度は、100以上が川がとうめいでのりがにごっているということです。左の表からわかることは、上流や流だ流は川がとうめいだけどもとうめいではないことが分かりました。

場所	水温	気温	COD	度
上流	19℃	23℃	4	100以上
山姥中流	23℃	30℃	4	100以上
広瀬下流	22℃	27℃	4	100以上
東江河口	22℃	27℃	4	61cm

編集後記

この結果から見たらいしなし川はやっぱりきれいなのが分かりました。石のことも知らない部分がいっぱいあったけど、くわしく知れてよかったし、水しつけんさも場所によって結果がちがっていてびっくりしました。

参考にした本や資料

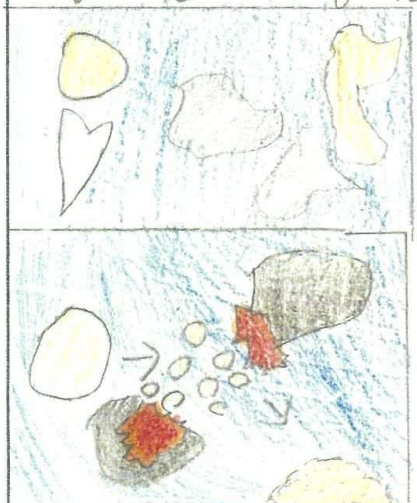
川のひみつ

発行日　令和　7年　11月　18日

発行者　広瀬小
加納　毬

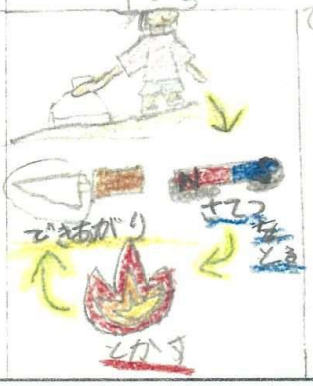
石は石のお母さん!?　砂のひみつ

石の大きさについてふしぎに思ったことはありますか。石にはいろいろな大きさがありますが、なぜ、大きさがちがうのでしょうか。石は石のお母さんでしょうか。石は岩にあたってくずれます。さらにくずれてさいしゅう的に砂になります。石の形はすべて同じではありません。いろいろな石があるから砂になる速さもちがいます。川に石がたくさんあるほど上流にはたくさんの石があるということです。上流の石はとてもぬめぬめしていて、とてもすべりやすかったです。まん丸の石もありましたがとても小さい石でした。



金くそはどうやって出来たの？

金くそは、鉄などのしっぱい作です。昔、人が金を作るときに、ふ鉄をあつめてとたさ鉄をいっそうにとかして形を整えれば完せいです。金くそは川にすてられていたため、今はめずらしいです。



水うはどうなの？

まず、水温については、上流が19℃、中流が23℃、下流と河口は22℃でした。CODは、全て「4」でした。ほかの日は8以上なのになぜかその日は4でした。どうして、上流と中流と下流が100度は、上流と中流と下流が100より上（以上）河口は81でした。川にあるゴミが中海まで流れてきたのでしょうか。中流の中には入っていないので分かりませんが、ゴミが下にたまっているのかもしれません。

編集後記

河口にゴミがたまったりしているのかは、分りません。81だから中海は少しきたないかもです。中海の100のとうし度を見たときに100にごっていて見えにくかったです。川や川につながる海をきたなくしないためにこれからも川を大切にしたいと思います。学習発表会で自然を守るためのたのしい自然がもっとふえてほしいです。

参考にした本や資料